



# 新しい風を吹かせよう！

村は、来年度、村内中学校の同一敷地内に、認定こども園・小学校・中学校を整備し、接続した一貫教育をスタートさせます。現在、新しい春に向けた準備を、一つひとつ進めているところです。

7月には、対象年齢の児童・生徒などに、来年度以降の教育ビジョンや子育て支援の内容をまとめたパンフレットを配布。新年度の学級編制にかかる1回目の就学意向調査を行いました。また、保護者の皆さんから、さらに詳しい質問が多く寄せられたことから、9月9日には保護者説明会を開催しました。

村は、教育内容や教育環境、子育て支援の充実に、いっそう力を注いでいきます。それと同時に、子どもたち、保護者の皆さん、保育所、幼稚園、小学校、中学校、教育委員会、行政が、思いを共有し、アイデアを出し合っ、飯館村らしい、豊かであたたかな子育て教育の場を、生み出していきたいと考えています。

中学校では放課後塾を週5日開講



奈良の皆さんと交流が続く小学校



「運動会がんばるぞ！」幼稚園にて



草野・飯樋・白石小学校  
草野・飯樋幼稚園

校長/園長  
吉川武彦先生



村内の学校に通わせたいが…と悩んでいる保護者の方には、「情報をよく集め、自分の目で見て考えて」とアドバイスしています。手前ミソですが、花まる学習会の思考力授業や、支援による芸術活動・交流活動など、飯館の教育活動には、他にはない魅力が備わっています。また、少人数校の課題とよさについて聞かれることもあります。少人数では、団体競技を異年齢で組まなければならないという対応が考えられます。しかし、一人ひとりに活躍の場があり、一人ひとりに時間をかけられるというよさも大いにあります。それは大規模校では逆にできないことです。以前、全校児童14人の学校に勤めましたが、発表会などでは、一人ひとりが主役となり、いきいきと活動することができました。異年齢が交流し、上級生に憧れをもって成長できることは、新入学時のつまづき解消にも役立つと考えています。

来年度はまさに新生飯館中学校が誕生します。震災前、そして震災後の現在まで、先輩方が築いてきたものを受け継ぎながら、認定こども園と小中学校が一つになる特色をいかして、新しい伝統を作り上げていきたいですね。そこに向けて、アイデアを出し合い、精力的に話し合いを行っています。生徒たちも、新生飯館中の一期生として、やる気を見せています。「今の私たちや学校のこと、村の取り組みを発信したい」という声を、よく聞くようになりました。意気込みがあり、生徒たちは100%前向きです。その前向きさとは対象的に、まだまだ大変な現状を抱えるお年寄りにつながる「ふるさと学習」も、いっそう大切にしたい。そして、乗り越えてきた震災後の時間を忘れず、お世話になった地域に感謝を表す取り組みも、やり遂げていきたいと考えています。

飯館中学校

校長  
和田節子先生



チャレンジ!  
**Challenge!**  
子育てと教育を村が全力でサポートします

新しい制服の試作品をお披露目！  
詳しくはP5をご覧ください



いいたて四季彩景 ● 池の水面に映る秋



村内に点在する池沼は風景のアクセント。松塚地区の秋のひとこま

撮影/中山真波さん(道の駅スタッフ)

## CONTENTS 目次

- 3 特集1 Challenge! 子育てと教育を全力サポートします
- 6 復興を歩む 昇口舗装の実現
- 8 特集2 村議会議員選挙 選挙結果と新議員の紹介
- 12 報告のページ 9月議会定例会
- 14 報告のページ 平成28年度決算
- 18 ほけんとふくし つながっぺ開所式 ほか
- 19 報告のページ 全国共進会 ほか
- 20 いいたて便り
- 22 つながるアルバム
- 24 おしらせ
- 25 入札結果
- 26 ひとかたるものがたり / 堀先生相談室
- 27 こころのぼけっと / ひとのうごき
- 28 ホープス / 編集後記

ヤングアメリカンズの皆さんが、小学校と中学校を訪れて、ワークショップを開いてくれました。体いっぱい音楽とダンスを楽しむ小学生のステージです。



● 表紙のおはなし ●



## 一貫教育のよさを生かす新園舎・新校舎

毎日通うのが楽しみになる、工夫がいっぱいの新しい園舎と校舎は、平成29年度内に竣工する予定です。

**認定こども園・小中学校の一貫した教育**

0歳から15歳まで、家庭や地域と連携し一貫した教育を行うことで、小1プロブレムや中1ギャップ(小学校・中学校入学時に起こる問題等)の解消に努めます。

**手作りの給食**

給食費は完全無料となる予定です。温かくておいしい手作りの給食を、長期休み中の学童保育にも提供します。放射性物質の全品検査も実施します。

**学童保育の充実**

親の就業に関係なく無料で利用できます。長期休み中も完全給食で実施。地域の大人・お年寄り、学校支援ボランティア等との交流も積極的に図ります。

**教材等の費用 PTA 会費が無料**

認定こども園入園から、中学校卒業まで(0歳から15歳まで)、一般的な教材費やPTA会費等、教育にかかる費用は、全て村が負担する予定です。

**新しいデザインの制服・運動着**

認定こども園・小学校・中学校の制服・運動着のデザインを、有名デザイナーによって一新し、それら全てを無料で配布する予定です。

**運行しますスクールバス**

村内・村外を問わず、子どもたち(3歳から15歳)をスクールバス等で送迎します。放課後や長期休み中に行われる村塾などの送迎も行います。

**制服デザインのお披露目**

9月14日、来春開校する小中一貫校の制服の試作品が、飯館中学校でお披露目となりました。

制服のデザインは、ファッションデザイナーのフジノヒロコさんに、村が依頼しました。フジノさんは、震災後、部活動で使用するユニフォームを中学校に寄贈したり、小学校でワークショップを開いたり、多くの支援を寄せてくださっています。

2つのタイプのデザインが披露されると、生徒たちは、どちらのデザインが好きかなどを友達と語り、来春に思いを馳せていました。



# 教育内容も施設建物も子育て支援も！ 総合的に取り組みます 子どもを育てるなら 飯館村

飯館村では、新しい教育ビジョンのもと、教育課程を見直し、一貫教育のよさを生かしながら、一人ひとりがもつ可能性をより豊かに引き出す教育を実現していきます。また、教師・保護者・地域が連携し、多彩な支援者・協力機関と関わりながら「知・徳・体」のバランスを大切に、「よりよい未来を自分たちの力で創ることができる子ども」を育てていきます。

その子にしかない  
その子の光を見つけ  
より輝かせる教育

よりよい未来を自分たちの力で創ることができる子ども

飯館村で目指す子ども像

**花まるタイム 放課後塾**

学習塾「花まる学習会」のノウハウを生かし、思考力や想像力を育むと共に、幅広い進路の選択と希望の実現を図ります。

**国際理解 外国語教育**

海外でのホームステイなど、体験活動を充実させ、外国語の活用や異文化理解を図ります。

**芸術教育 読育 木育 笑育**

豊かな心や感性、表現力、コミュニケーション能力などを育みます。

**いいたて ならではの豊かな教育**

**食育と健康教育**

食を学ぶことを通して、自然の恵みや命の大切さを感じさせると共に、感謝の心を育みます。

**ふるさと教育**

村の伝統や文化を学び、村を愛する心を育みます。

**認定こども園・小・中・地域の合同行事等**

異年齢で触れ合うことにより、リーダーシップや思いやりの心などを育みます。

## 最終の就学意向調査にご協力を!

村教育委員会では、新年度の学級編制にあたって、最終の就学意向調査を、10月初旬に行う予定です。回答へのご協力をよろしくお願いいたします。なお、ご不明な点などお気軽にお問い合わせください。

村教育委員会 ☎0244-42-1631



保護者説明会 (9月9日)

## 第1回就学意向調査について報告します

第1回目の就学意向調査は、平成29年7月12日現在で、震災がなければ村の幼少中学校に通っていたであろう(通うであろう)児童・生徒のうち、中学2年生以下の全児童生徒736人に対し実施しました。

7月28日に文書を送付し、8月14日まで回答を呼びかけ、408人(55.4%)からの回答を得ました(締め切り後の到着分を含む)。このうち、「村の学校に就学する」と回答したのは52人、「迷っている」と回答したのは38人でした。

実数：就学する ( )内：迷っている

認定こども園	8人 (14人)
小学校	15人 (15人)
中学校	29人 (9人)
<b>全体</b>	<b>52人 (38人)</b>



自宅と作業場につながる昇口、合わせて約140メートルを舗装した長谷川正和さん（伊丹沢）の自宅です。1回目の募集時に申請し、工事は今年の初夏に行われました。4人の子どもたちは県内外でそれぞれ独立しており、長谷川さんは、母親のキミノさんと2人で、建て替えた自宅に戻りました。「これだけの長さを舗装するには経費がかかるので、やりたくともできないでいたんです。本当に助かる事業でした。近くにいる子どもは週に1度帰って来ますし、きれいになってよかった。トラクターで雪はきをする時に道まで削ってしまったり、雨で砂利を流されたりしていたけれど、これからは大丈夫でしょう。うれしいね」

昇口とは、公道から自宅までの引き込み道路のこと。「帰還再生生活道路整備事業(昇口舗装事業)」は、除染後の昇口にアスファルト舗装を施すことで放射線遮蔽の効果を高めると共に生活利便性を向上させる目的で実施しています。

えは一貫して、「個人の資産形成に税金を使うことは、切できません」。

「そうは言っても、村に戻ろうと言っているのだから、それを応援するのが大切でしょう」と言い続けた村長。その熱意と粘りが、とうとう国の英断を引き出しました。それは、「昇口は、郵便配達員なども使用する公共性の高い生活道路ゆえ、村が事業主体となり、村道として工事をするならいいでしょう」という判断でした。アスファルト舗装が放射線を遮蔽し、除染の効果を高めることから、除染事業の一環と位置づけて舗装工事ができることになったのです。

村は、事業がさらに有益なものとなるよう、補助率を上げ、村民の負担を少なくしました。困難があればこそ、そこにチャンスを見出してきたのが、飯館村です。被災の対応が続く職員の業務がさらに増えることではありましたが、苦しい避難生活の中、村内の自宅の維持にも苦勞する村民のため、最大限に役立つ事業にしようと考えました。そして、村議会や国の協力の下、想定以上の好条件で、昇口舗装の事業を実現することができたのです。

村内で、いわゆる「昇口舗装(じょうぐちほそう)」の事業が始まったのは、平成26年度のことです。受け付け終了後も希望者が続出したため、追加募集を平成28年11月に行い、最終的な申し込み数は、644件にのぼりました。

9月末現在、384世帯の舗装が完了しており、年度末までには、申請した世帯の約7割が工事を終える予定ですが、村内をめぐると、きれいに舗装された昇口を数多く見かけるようになりませんでした。しかも、簡易舗装ではありません。30cmの深さで掘削して砂利を入れ、4cmの厚さでアスファルトを敷いています。どうしてこのような事業が、個人負担2割で行えることになったのでしょうか。

家屋敷や田畑の除染が必要となり、全村避難を強いられた村。その苦しみ耐えざるを得ない村民の我慢に、少しでも報いることはできないか。村は、知恵をしぼって話し合いを続けていました。そこで出てきたのが「除染で昇口を削るなら、合わせて簡易舗装ができるようにしたらどうか」というアイデアでした。菅野村長は、これを国に提案し交渉を続けました。しかし答

平成29年9月24日執行

# 飯舘村議会議員一般選挙

9月24日、避難指示解除後（帰還困難区域を除く）初めての飯舘村議会議員一般選挙が行われました。今回の選挙には定数10人に対し、12人が立候補しました。

期日前投票所は、15日から村役場本庁舎に設置された他、南相馬市、相馬市、福島市、伊達市などに設けられました。また、24日の投票日には、村役場本庁舎と村役場飯野支所で投票が行われ、即日開票の結果、当選者が確定しました。当選者の任期は、平成29年9月30日から平成33年9月29日となります。



## 有権者データ

全体投票率： 63.23%  
(前回 73.03%)  
当日有権者数： 5,088人  
総投票数： 3,217票  
年代別投票率(最高)  
70～74歳 86.17%  
年代別投票率(最低)  
20～24歳 31.30%



## 有権者の声、ご紹介します。

期日前投票及び当日投票に来た方に、お話を伺いました。

- 村の大切な選挙なので、投票に来ました。村のこれからをしっかりと考えていきたいです。  
20代 男性 学生
- 村のこれからのため、より顔の見える議会になって欲しいです。  
40代 男性 会社員
- 復興はこれから。新議員には村のため、村民のために尽力してほしい。  
60代 女性 無職

## 各候補者の得票数 (得票順・敬称略)

当選	佐藤 八郎	469.798票
当選	佐藤 健太	395.672票
当選	高橋 孝雄	394票
当選	長正 利一	340票
当選	大谷 友孝	322票
当選	佐藤 一郎	311.529票
当選	菅野 新一	307票
当選	渡邊 計	235票
当選	相良 弘	181票
当選	高橋 和幸	86票
	庄司 圭一	72票
	目黒 正光	61票



## 行政区ごとの投票データ

行政区	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
草野	524	311	59.35
深谷	264	168	63.64
伊丹沢	349	214	61.32
関沢	246	140	56.91
小宮	349	232	66.48
八木沢・芦原	136	90	66.18
大倉	107	90	84.11
佐須	203	168	82.76
宮内	226	149	65.93
飯樋町	332	196	59.04
前田・八和木	275	203	73.82
大久保・外内	218	145	66.51
上飯樋	433	259	59.82
比曾	280	136	48.57
長泥	221	104	47.06
蕨平	150	92	61.33
関根・松塚	162	101	62.35
白石	220	153	69.55
前田	192	140	72.92
二枚橋・須萱	201	126	62.69
	5,088	3,217	63.23

# あたらしい議員の皆さんを紹介します

9月25日、村役場本庁舎で、村議会議員当選証書付与式が行われました。式では、高野京子選挙管理委員会委員長が10人の当選者一人ひとりに当選証書を手渡しました。



新議員の皆さんに、お答えいただきました。  
①座右の銘  
②基本政策を教えてください。(敬称略・順不同)



さとう はちろう  
**佐藤 八郎**  
(深谷)  
65歳/農業/7期目

①一人はみんなのために、みんなは一人のために  
②村民主人公の村づくりを基本として、村民の声・願いを聞き、村政に生かし報告する。村民の立場で行政を監視し、皆さんの要望実現に努力いたします。



さとう けんた  
**佐藤 健太**  
(前田)  
35歳/会社員/1期目

①是々非々  
②村民が誇りに思え、活躍できる村民参加の村づくりの再建を基本に、村の健全な財政維持と活気ある農林商工業の振興。



たかはし たかお  
**高橋 孝雄**  
(前田・八和木)  
74歳/農業/1期目

①未来の子どもたちに美しい村を  
②未来の子どもたちに震災前の美しい村に戻して引き継ぐ事が大人の務めと思い、立候補しました。宅地・農地・道路から100mぐらいの水草などを刈り出し、山の幸を取り戻す。小川を清流に戻してイワナやヤマメの住める小川にしたい。



ながしやう としいち  
**長正 利一**  
(大久保・外内)  
61歳/農業/1期目

①粉骨砕身  
②先人たちの多大な汗によって、築いてきた私たちの飯館村。大変な難局ですが「為せば成る」を信念に、さらなる誇れる村づくりにまい進します。



おおがい ともたか  
**大谷 友孝**  
(小宮)  
66歳/農業/7期目

①自主独立  
②村の活気ある復興・再生  
1. 農林業・商工業の振興  
2. 子どもの教育と健康づくり  
3. 雇用の場の確保  
4. 医療・介護・福祉の充実



かんの しんいち  
**菅野 新一**  
(佐須)  
75歳/農業/2期目

①道義  
②全ての村民が安心・安全で暮らせるような復興に全力で尽くす。



さがら ひろし  
**相良 弘**  
(白石)  
70歳/無職/2期目

①無  
②1. 高齢者の福祉政策  
2. インフラの整備



さとう いちろう  
**佐藤 一郎**  
(大倉)  
56歳/農業/1期目

①為せば成る  
②ふるさと「飯館村」を次の世代に引き継げるように、人と人とのつながりを大事に、誰もが活躍できるふるさとづくりを目指します。



わたなべ はかる  
**渡邊 計**  
(小宮)  
59歳/農業/2期目

①真実一路  
②介護福祉の充実を図り、村民が安心・安全・安定した生活ができるよう、村民の人権を守ること。



たかはし かずゆき  
**高橋 和幸**  
(小宮)  
43歳/会社役員/1期目

①精神一何事か成らざらん。意志あるところに道あり  
②帰還後の収入のない現実にあいての賠償・補償問題。ADRの早期解決。一度で終わらせない除染問題。生活再建に関わる各分野への取り組み。

# 平成29年 第9回 飯舘村議会定例会



平成29年9月議会定例会は、8月28日から9月8日までの日程で開かれました。一般質問は30日に行われ、村議員が村政の重要な課題等について村側の考えを質しました。議会審議は8日に行われ、提出された議案は追加議案を含めて全て原案どおり可決されました。

## 今議会で可決された議案等

(紙面の都合上、一部省略しています)

- 平成29年度一般会計補正予算(第5号)  
既定予算総額に、7億5292万円を増額し、歳入歳出予算の総額を225億2778万円としました。  
歳出の主な内容は農林水産業費の農業費に1億9256万円を計上しました。歳入では、地方交付税、国、県支出金、寄付金、繰入金などを充てています。
- 平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
- 平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

## 平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

- 平成28年度飯舘村一般会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について
- 平成28年度飯舘村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

## 飯舘村公告式条例の一部を改正する条例

- 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 飯舘村役場飯野支所設置条例を廃止する条例
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(13区トマト栽培用耐候性ハウス) 請負契約について
- 被災地域農業復興総合支援事業基幹事業農業用施設等整備工事(7区内用牛用施設) 請負契約について
- 人権擁護委員の候補者の推薦について

## 村長村政報告

(紙面の都合上、一部省略しています)

### 現状と課題に向けた取り組み

帰還困難区域を除き避難指示が解除されてから、5か月が経過しました。徐々にではありますが、帰村する村民が増えてきており、8月20日現在の帰還状況は、188世帯、400人となっています。帰還率は7%程度ですが、村内で生業農業として、畜産・花卉・野菜などの営農再開をされた方、また生きがい農業支援による営農活動を始めた方、事業所等の再開に向けた動き、さらには宿泊体験館「きこり」の宿泊再開など、村内の活気も少しずつ取り戻しつつあります。

帰村に際し課題の一つでありました「在宅介護サービス」については、川俣町及び伊達市の介護事業所と協議が整い、村内でホームヘルプサービスが実施されています。

### 「道の駅までい館」

村の復興拠点施設として整備してきました道の駅「いいいたて村の道の駅までい館」の竣工式を、8月11日に当館において挙行しました。今後の運営にあたっては、「までの精神」を基本とし、村の情報の発信基地と交流の拠点施設としての役割をしっかりと果たしていくことと併せて施設の安定した健全経営に向け、職員一同さらに研さんに努め、来場者に愛され、親しまれる施設を目指し取り組んでいきます。

### 草野小、飯樋小、白石小の統合時期

学校再開時期である平成30年4月から1年間については、今までどおり3つの小学校を維持し、平成31年4月からは1校に統合します。  
なお、学校の名称については、今後教育委員会など関係機関で検討し決定します。また、制服については、現在著名なデザイナーに依頼しており、子どもたちの意見なども参考にしながら、決定したいと考えています。

### サポートセンターの開所

帰村された方の憩いの場、交流機会の確保等を目的に準備を進めてまいりましたサポートセンターですが、9月1日から村社会福祉協議会の運営により、いたてクリニックで開始することになりました。多くの方々にご利用いただけるよう事業の創意工夫に努めるほか、周知を図っていきます。

### 村内産農産物出荷再開について

3月に和牛繁殖農家が家畜市場に仔牛1頭を出荷したのを皮切りに、7月に深谷地区のサヤインゲン、松塚地区のカスミソウが、それぞれ出荷を再開しています。  
野菜については、県の緊急時モニタリング検査を受けての出荷再開で、現在、ブルーベリー、ナス、馬鈴薯についても、順次検査を受けています。

今後、トルコギキョウ、アルストロメリア等の花卉類と並行して、食用農産物の販売再開も進んでいくものと期待しているところで。

### 学校再開に向けた取り組み

学校再開に向けた建設工事は、概ね順調に推移しております。平成30年4月の学校再開に支障が生じないよう現場管理に努めます。

次に、平成30年の学校再開に向けた第1回就学意向調査を行っています。今回の調査は、本来であれば村の学校に通うであろう中学2年生以下の児童生徒736名全員を対象に、記名での回答を求める方式で実施しました。今後は、早期に保護者説明会を開催したいと考えており、一人でも多くの児童生徒に村の学校に通っていただけるよう努めます。

### 子どもたちの研修事業

7月21日から24日に、沖縄までの旅を実施し、小学6年生26人が、命や自然環境の大切さを学びました。  
次に、7月26日から8月4日に、未来への翼カナダ研修を実施し、中学生15人が、カナダで農業体験、ホームステイ等を体験してきました。

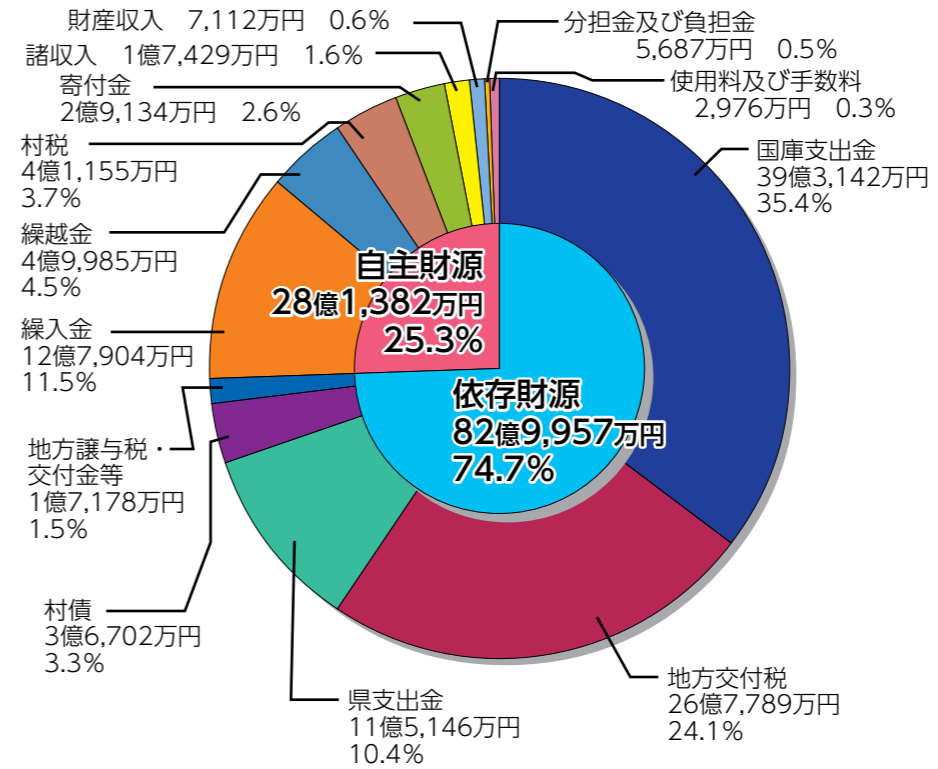
# 平成28年度 飯舘村 決算報告

飯舘村における平成28年度各会計決算がまとまり、9月定例議会にて承認されました。本村の一般会計歳入総額は111億1,339万円、歳出総額は103億1,531万円、歳出総額103億1,531万円、歳入総額111億1,339万円、歳出とも過去最大規模となりました。

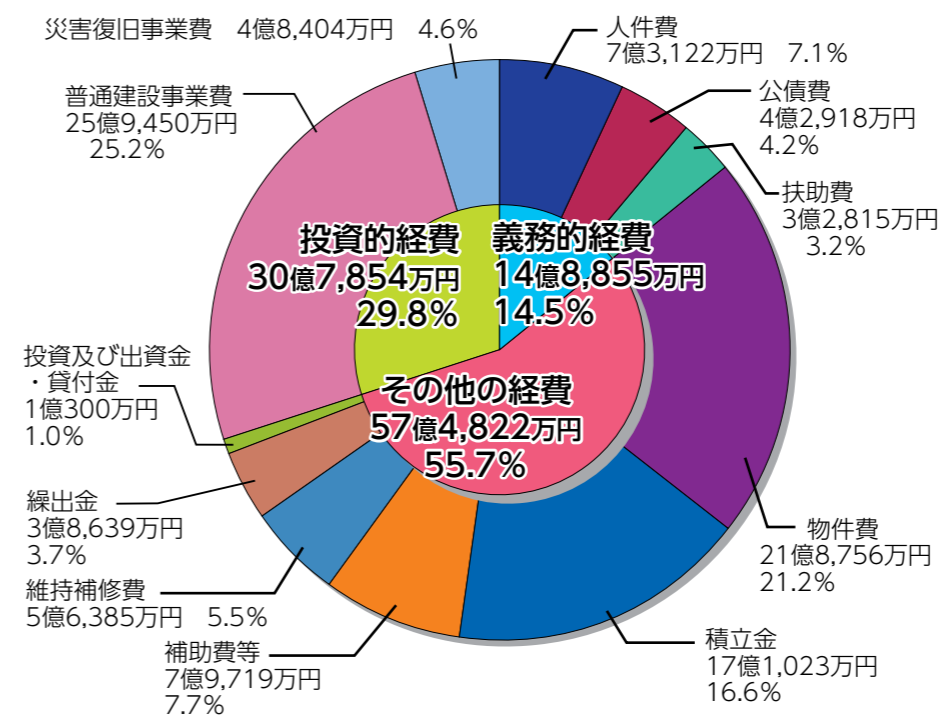
昨年度に比べ、歳入は19億3,452万円増額、歳出は19億4,629万円増額となりました。増額の原因は、歳入での福島再生加速化交付金、福島生活環境整備・帰還再生加速事業などの復興関係の交付金の増額。歳出では、村内学校等再開整備事業やスポーツ公園設計業務、村営住宅修繕工事が増加しました。

昨年度の村政の動きと、一般会計・特別会計の主な内容等をお知らせします。  
(金額は端数処理をし、万円単位にしています)

## 歳入 111億1,339万円



## 歳出 103億1,531万円



平成28年度に  
村民1人あたりに使われたお金  
(1円未満四捨五入)

# 171万9,218円

※一般会計目的別歳出決算額  
103億1,531万円  
人口6,000人 (平成29年4月30日現在)

**総務費**  
村全般企画・管理に

1人あたり  
**62万110円**

**教育費**  
学校教育の充実に

1人あたり  
**28万4,819円**

**農林水産業費**  
農業復興のために

1人あたり  
**18万9,782円**

**民生費**  
福祉増進のために

1人あたり  
**14万6,181円**

**衛生費**  
清掃・予防衛生に

1人あたり  
**13万9,384円**

**土木費**  
道路や橋の整備に

1人あたり  
**12万4,266円**

**公債費**  
借入金の返済に

1人あたり  
**7万1,530円**

**消防費**  
消防・防災に

1人あたり  
**6万4,722円**

**災害復旧費**  
復旧・復興に

1人あたり  
**4万2,154円**

**商工費**  
企業立地支援などに

1人あたり  
**1万7,105円**

※その他 (議会・諸支出金・労働費) … 1人あたり **1万9,165円**

### 村各特別会計の決算状況 ※ ( )内は前年比

<b>国民健康保険特別会計</b> 歳入：14億8,801万円 (7.6%減) 歳出：13億6,463万円 (12.3%減)	<b>介護保険特別会計</b> 歳入：9億6,364万円 (7.1%減) 歳出：9億692万円 (8.1%減)
<b>簡易水道事業特別会計</b> 歳入：1億2,335万円 (9.2%増) 歳出：1億6万円 (11.2%減)	<b>介護サービス事業</b> 歳入：579万円 (3.5%減) 歳出：579万円 (3.5%減)
<b>農業集落排水事業特別会計</b> 歳入：4,702万円 (14.1%増) 歳出：4,672万円 (14.2%増)	<b>後期高齢者医療特別会計</b> 歳入：2,380万円 (1.0%減) 歳出：2,380万円 (1.0%減)



## 原子力災害を乗り越える

### 放射線量の測定・公表する

- モニタリングマップ作成事業業務 ・ 9,396万円
- 環境放射線モニタリング業務 ・ ・ ・ 5,994万円

### 安全な飲料水を確保する

- 飲料水安全確保対策事業 ・ ・ ・ ・ 2億5,329万円

### 村復興のシンボルへ

- 交流センター建替事業 ・ ・ ・ ・ 4億9,215万円
- 道の駅「までい館」整備事業 ・ ・ ・ 3,552万円



## までいブランドを再生する

### 営農再開を支援する

- 被災地域農業復興総合支援事業 ・ ・ ・ 3億75万円

### 除染後農地の保全、実証栽培などを支援する

- 福島県営農再開支援事業 ・ ・ ・ ・ 1億5,050万円
- 農地等維持管理事業 ・ ・ ・ ・ 6,584万円

### 村内宿泊施設の再開へ

- 宿泊体験館きこり修繕整備事業 ・ 1億4,799万円



## 飯舘村の財政状況指標

平成28年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定による村の財政状況を公表します。

平成28年度健全化判断比率等を算定した結果、4つの指標において早期健全化団体や財政再生団体となる基準を下回りました。このことから、本村の財政状況は健全な状態にありますが、引き続き、適正な財政運営に努めます。

健全化判断比率	早期健全化基準 ※基準を下回るほど健全	飯舘村の財政状況
一般会計での赤字の程度 (実質赤字比率)	15%	算定なし
全会計での赤字の程度 (連結実質赤字比率)	20%	算定なし
財源の中で借金返済額の占める割合 (実質公債費比率)	25%	6.4%
全会計を対象に、一般会計などが将来負担する借金の財政規模に対する割合 (将来負担比率)	350%	算定なし

# 復興を目指す歩み

～平成28年度に実施した主な施策～

平成28年度一般会計決算額の中で、復旧・復興事業に要した歳出総額は70億9330万円で歳出全体の約7割を占めました。  
平成28年度に村が行った主な施策について、紹介します。

## 生命(いのち)を守る

### 健康を守る

- 予防接種・各種健診事業 ・ ・ ・ ・ 5,176万円
- 総合診療所(いいたてクリニック)運営事業  
・ ・ ・ ・ ・ 2,275万円
- 仮設住宅入居高齢者等健康管理業務 ・ ・ 536万円
- 緊急通報体制整備事業 ・ ・ ・ ・ 103万円
- 内部被ばく検査事業 ・ ・ ・ ・ 78万円

### 子どもの医療費を支援する

- 乳幼児医療費助成事業 ・ ・ ・ ・ 475万円



## 子どもたちの未来をつくる

### 避難先での子育てを支える

- 被災児童生徒等就学支援費 ・ ・ ・ ・ 3,145万円
- 子育て支援事業 ・ ・ ・ ・ 995万円
- 妊婦健康診査・相談事業 ・ ・ ・ ・ 581万円

### 中学生の学力向上を目指す

- 村塾事業 ・ ・ ・ ・ 68万円

### 子ども達に多様な経験を

- 沖縄までいの旅・カナダ未来への翼 ・ 1,819万円



## 人と人がつながる

### 村民同士のつながりを維持する

- 地域づくり事業 ・ ・ ・ ・ 1,359万円
- 敬老会 ・ ・ ・ ・ 606万円
- ふれあい集会実行委員会補助金 ・ ・ ・ 570万円
- 老人クラブ活動支援事業 ・ ・ ・ ・ 112万円

### 避難先でのつながりを支える

- 自治会支援事業補助金 ・ ・ ・ ・ 1,222万円





和牛のオリンピック 優等賞

9月11日、和牛の品評会「第11回和牛能力共進会宮城大会」で佐藤一郎さん(大倉)が出品した和牛が上から13番目に当たる優等賞13席に選ばれました。

この大会は、9月7から11日、全国から選ばれた和牛の優秀性を競いました。佐藤さんは福島県代表として第2区(若雌の1)に出品。佐藤さんは「賞を獲得できるとは思っていませんでした。入賞の結果に本当に驚いた。こんなに名誉なことはない。村が誇るブランド飯館牛復活の弾みにしたい」と村内畜産の復活・発展へ意欲を示しました。



▲簡単な体操やレクリエーションも行います♪



▲お茶を飲みながら、ゆったりと過ごせます

サポートセンター「つながっぺ」の利用について

- 開催日…月曜日～金曜日
  - 開催時間…午前10時～午後3時
  - 対象者…帰村した村民
  - 利用料…無料 ※昼食代500円
  - 利用方法…利用登録申請書を村社会福祉協議会に提出ください。その後、利用者証と「あしあと」(手帳)をお渡しします。
- ※ご自分で来れない場合は、ご相談ください。  
 問 村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021

村民をつなぐ

9月1日、帰村した村民が集まり運動や趣味を楽しめる飯館村サポートセンター「つながっぺ」がいたってクリニック(伊丹沢)内に開所しました。

オープンセレモニーには、帰村した村民ら約50人が出席し、新しい交流の場の誕生を祝いました。第1号の利用者証は熊久保瀧子さん(深谷)は「避難してから会えていなかった人に笑顔で会えるのは嬉しい」と喜びをみせました。



新しい年に「あたりまえ」のありがたさと人の心の「あたたかさ」を。

今年、飯館村オリジナルデザイン年賀はがきが販売されます。通常の年賀はがきより**5円安い47円**で購入できます。新年のあいさつと一緒に飯館村を届けてみてはいかがでしょうか。

- 販売開始日：11月1日(水)
- 販売場所：飯館村、福島市、伊達市、相馬市、南相馬市、川俣町、国見町、桑折町、新地町内の全ての郵便局(簡易郵便局及び切手類販売所を除く。)

○売 価：47円 ※通信販売は行いません。  
 ※村役場では販売しませんので、ご注意ください。

年賀状は しいたて村でオリジナル年賀販売!



▲会には、お祝いに「イイタネちゃん」も登場!

9月10日、飯館村敬老会が福島市飯野町の飯館中学校仮設体育館で開かれました。会には、300人以上の敬老者が集い、再会を喜び合う姿が多く見られました。

会では、村からの祝い金をはじめ、相農飯館校家庭クラブ、飯館村ライオンズクラブから祝いの品や贈呈や金婚夫妻へ福島民報社、県老人クラブ連合会からの表彰などが行われました。また、皆さんに楽しいひと時をと、草野・飯館幼稚園児、飯館フラックラブ、民謡同好会の歌やダンス、役場・社協職員と「イイタネちゃん」によるダンスが披露され、会に華を添えました。



イキイキ長生き 敬老会!

## 県芸術祭で堂々の披露 宮内の宝財踊り



県芸術祭の開幕行事の一環。大勢の観客の前で、日頃の練習の成果を見事に披露しました

9月3日に相馬市民会館で開幕した「第56回福島県芸術祭」。今年のテーマ「生きる力 文化の力は 相双から」に合わせて、オープニングステージに、相双地方の文化芸術団体9組が出演しました。その一つとしてステージに立ったのが、「宮内宝財踊り勇姿の会（三瓶重子代表）」。

全身を使った迫力ある動きや、ユーモラスな演技で、観客の大きな拍手を集めました。この芸術祭は、県内の芸術文化振興を目的とするもので、98件の主催行事・参加行事が開かれました。



めおと楽団ジキジキ



飯館産イチゴを使ったフレーバードティー（紅茶）とケーキと音楽を味わうティーパーティです

## 笑って歌っておしゃべりも 「お笑い！歌声喫茶」

9月7日、交流センター「ふれ愛館」で、自主文化事業いいたてティーパーティー「お笑い！歌声喫茶」が開かれました。第1部では、紅茶とケーキを味わいながら、音楽漫才ユニット「めおと楽団ジキジキ」の爆笑ライブを観賞。幕間には自由におしゃべりを楽しみ、第2部が「歌声喫茶」です。ジキジキの生演奏に合わせて皆で歌う「知床旅情」「高校3年生」「赤とんぼ」…。歌を重ねるほどに会場はいい雰囲気。「懐かしいね」「やっぱり歌はいいね」と、皆の表情もほころんでいました。

## 感謝と敬意をこめて いいたてホームの敬老会



色鮮やかな着物姿で情感たっぷりの舞踊を見せる「藤華新流」のステージ。会場を盛り上げました

9月18日、特別養護老人ホーム「いいたてホーム」で、敬老会が開かれました。会場のホールには紅白の幕が張られ、白いクロスを引いたテーブルには優しい花々が飾られました。会では、菅野理事長があいさつし、歌手の藤田征人さん、舞踊の「藤華新流」の皆さんや職員たちが、次々に歌や踊りを披露して、入居者を楽しませました。お昼も、ちらし寿司や天ぷら、オードブルの盛り合わせなどとても華やかな献立。敬老の日に合わせて訪れた家族も一緒に、入居者の長寿を祝いました。

## 宝くじ事業を活用して 行政区の活動をサポート

大久保・外内行政区（長正増夫区長）が、「宝くじ助成事業」の「一般コミュニティ助成事業」を活用して、ノートパソコン4台とプリンター1台を購入しました。購入した機器は、7月、区の施設内に設置され、早速、活用が始まっています。

離ればなれに暮らす区民と連携して、さまざまな活動を進めている現在、同区では、区の広報紙や記録誌を制作したり、お知らせや活動報告を配布したりして、情報共有に力を入れており、機器の導入による活動の充実が期待されます。



コミュニティ  
助成事業とは

一般財団法人自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として実施しています。集会施設やコミュニティ活動備品の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、活力ある商店街づくりや地域の国際化の推進及び地域文化への支援等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図り、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与しています。

## やまゆり保育所で わくわく楽しい夏祭り

8月25日、やまゆり保育所で、夏祭りが開かれました。少し明かりを落としたホールに、魚釣りやモグラたたきなどの縁日コーナーが準備され、愛らしい浴衣姿・甚平姿の子どもたちが登場。子どもたちは目をキラキラさせて、保護者と各コーナーをめぐる、おやつにはかき氷、昼食には唐揚げや焼きそばなどを味わいました。来年度から、村内の新しい施設で「認定こども園」がスタートするため、保育所としては最後の夏祭り。行く夏を惜しむように、にぎやかな笑い声が響いていました。



縁日コーナーの工夫いっぱいのアイテムや祭りを盛り上げる装飾などは全て先生方の手作りです

## ふくしま再生の会 活動の足跡を報告しました

8月26日、認定NPO法人「ふくしま再生の会（田尾陽一理事長）」が、交流センター「ふれ愛館」で、今年の報告会を開きました。同会は、震災が起きた平成23年に、専門家とボランティア、そして村民が参加して発足。村の暮らしやなりわいの再生に向け協働しています。この日は、空間線量、土壌放射能、山野草・樹木の放射能、試験栽培した農作物の放射能などについて、村民と協働で測定するデータを中心に報告。また長期にわたる活動も紹介し、参加者と交流を深めました。



測定値をまとめた資料



会場には、村民や村の職員の姿も。意見交換や情報共有も行われました。右端が田尾理事長



少人数編成の繊細なハーモニーがホールいっぱいに

「「いたてお母さんコーラス(渡邊しづえ会長)」が、南相馬市の「さくらホール」で「第19回そうま地方合唱を楽しむ会 合同発表会」に出演しました。このコンサートは、相双地方の合唱団が一堂に会して演奏し交流を深めるもの。交流センター「ふれ愛館」で月2回の練習を重ねるメンバーは、伸びのある高音と華やかなハーモニーで、「このみち」「故郷」などを美しく歌い上げました。



おそろいのピンクのTシャツで。全体合唱のひとつ

飯舘  
お母さん  
コーラス

9/3

きつつきの会  
(川俣自治会)

8/23



川内村役場前で。前列右から5人目が遠藤村長

「きつつきの会(齋藤政行会長)」が、川内村で、視察研修を行いました。川内村役場では、遠藤雄幸村長の講話「被災地からの脱却を目指して」を聴講。平成26年に避難指示が解除された川内村の復興の現状を学びました。また、新設の商業施設、整備を進める工業団地、「ワインの里」づくりを行うブドウ畑なども訪問。村の復興の参考にと熱心に視察を行いました。



昼食は再開した店舗で特産のそばを味わいました



飯舘村  
軟式野球  
チーム

9/16

飯舘村  
ライオンズ  
クラブ

9/2



1回表、高橋敏捕手の左中間3塁打で2点を先制



連携して手際よく草刈り作業を行うメンバー



3回をのぞく毎回得点で快勝。笑顔がさわやか!

須賀川市の牡丹台球場で行われた「第11回市町村対抗軟式野球大会」1回戦。村チームは双葉町と対戦し、好機の連打と落ち着いた試合運びで、7対1で快勝しました。全員で練習する機会がなかなか作れない状況は続いていますが、もつと厳しい時期を共に乗り越えてきた仲間との結束は固く、チームワークはピカイチ。好守に二塁となる姿勢にスタンドも胸を熱くしました。

「飯舘村ライオンズクラブ」が、草刈りの奉仕作業を行いました。「いたてホーム」の前庭に集まった14人は、小雨の降る中で作業を開始。ホームの駐車場から道路に続く緑地の雑草を、きれいに刈り取っていききました。この夏は雨が多く、雑草は勢い良く成長していましたが、メンバーは、草刈機を巧みに操り、刈った草は軽トラックで集めて、どんどんと作業を進めました。



小雨の中、予定の作業を完了。おつかれさまでした

※ 2回戦の対白河市戦は9/24。末永進一選手の柵越え賞(ホームラン)も飛び出し一時は2点差まで詰め寄りましたが、12対5で惜敗しました。打撃に厚みが増していて今後の活躍が楽しみです。



お知らせ

# 入札結果をお知らせします

入札日 / 5月26日 (単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
第11号 井戸掘削(ボーリング)工事	3,672,000円	庄建技術(株)	平成29年9月下旬
平成28年 第3号 基盤整備促進事業 飯館1期 野手神第2地区	4,860,000円	(有)福相建設	平成29年9月中旬
平成28年 第4号 基盤整備促進事業 飯館1期 虎捕第1地区	2,397,600円	(有)渡建工業	平成29年10月上旬
平成28年 第5号 基盤整備促進事業 飯館1期 曲田第1地区	3,026,160円	(株)東栄	平成29年10月上旬
平成28年 第6号 基盤整備促進事業 飯館1期 下八木沢第1地区	3,421,440円	(株)東栄	平成29年10月上旬
平成28年 第8号 基盤整備促進事業 飯館1期 佐須第1地区	3,024,000円	(有)渡建工業	平成29年10月上旬
平成28年 第9号 基盤整備促進事業 飯館1期 柏塚地区	3,240,000円	濱田建設工業(株)	平成29年10月上旬
平成28年 第10号 基盤整備促進事業 飯館1期 大火第1地区	4,492,800円	(株)英工務店	平成29年10月上旬
平成28年 第11号 基盤整備促進事業 飯館1期 八和木第1地区	2,700,000円	(有)福相建設	平成29年10月上旬
平成28年 第13号 基盤整備促進事業 飯館1期 飯樋原第1地区	2,851,200円	(株)英工務店	平成29年9月中旬
平成28年 第14号 基盤整備促進事業 飯館1期 飯樋原第2地区	1,317,600円	(株)英工務店	平成29年9月中旬
平成28年 第15号 基盤整備促進事業 飯館1期 古今明第1地区	5,292,000円	濱田建設工業(株)	平成29年10月上旬

入札日 / 6月17日 (単位:円)

工事(業務)の番号・名称	契約額(税込)	請負業者	完成予定
飯館村マスコットキャラクター制作業務	2,975,000円	(株)電通	平成29年11月下旬
帰村促進アーカイブ制作業務	3,980,000円	(株)電通	平成29年8月上旬
道の駅までい館備品(花卉展示販売コーナー・その他)	7,823,520円	(有)マルショウ事務機	平成29年7月下旬
道の駅までい館備品(冷蔵・冷凍ショーケース)	2,289,600円	タニコー(株)東福島営業所	平成29年7月下旬
道の駅までい館車両購入(営業車)	1,824,120円	渡辺輪業自動車整備工場	平成29年8月下旬
道の駅までい館車両購入(宅配用冷蔵庫)	2,257,200円	大澤自動車整備工場	平成29年9月下旬



## イタネちゃんお知らせアプリをご利用ください

村では、情報の円滑かつ迅速な提供、震災前から続くコミュニティの維持・発展を目的とし「イタネちゃんお知らせアプリ」を開発しました。「イタネちゃんお知らせアプリ」は村民の皆さまが所有しているスマートフォンやタブレットから無料でダウンロードできます。

**本アプリは現在皆さまに貸し出しているタブレットからは利用できません。**

☎ 総務課企画係 (本庁 ☎ 0244-42-1613)

### ▼アプリのダウンロード方法はこちらです。

タブレット端末やスマートフォンから、次のアプリケーションで「飯館村」と検索し、ダウンロードしてください。(※QRコードを利用することで、直接ダウンロード画面に移動することができます)



アップルストア



iOS用



グーグルプレイ



android用



## 6月の村の動きと主なできごと

- 1日・飯館村サポートセンター「つながっぺ」開所式(いいたてクリニック)
- 4日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野支所)
- 7・11日・第11回全国和牛能力共進会 佐藤一郎さんの出品牛が優等賞受賞(宮城県仙台市)
- 8日・9月議会定例会 閉会(村役場本庁議場)
- 8日・第66回福島県中学校英語弁論大会 佐藤亜美さんが創作の部第2位受賞(喜多方プラザ)
- 9日・学校再開に係る保護者説明会(飯館中学校)
- 10日・平成29年飯館村敬老会(飯館中学校仮設体育館)
- 12日・第4回学校運営協議会(飯館中学校)
- 13日・「飯館村認定」子ども園「教職員採用並びに運営等検討委員会」いいたてホーム
- 14日・飯館村議会議員一般選挙 告示
- ・新制服試作品お披露目会(飯館中学校)
- 16日・村野球チーム 第11回市町村対抗県軟式野球大会一回戦(須賀川市・牡丹台球場)
- 20日・武藤容治経済産業副大臣「いいたていちごランド」視察(いいたていちごランド)
- 21日・吉野正芳復興大臣 道の駅及び松塚宮農再開農家視察  
(いいたて村の道の駅までい館・高橋日出夫さんの花き栽培ハウス)
- ・第9回農業委員会定例会(村役場本庁議場)
- 24日・飯館村議会議員一般選挙 投票開票(飯館村役場本庁支所/交流センター「ふれ愛館」)
- ・村野球チーム 第11回市町村対抗県軟式野球大会二回戦  
(本宮市・しらさわグリーンパーク野球場)
- ・深谷地区農業基盤整備事業説明会(深谷集会所)
- 26日・定例教育委員会(飯館村役場本庁)
- 29日・平成29年飯館村表彰式(交流センター「ふれ愛館」)
- 29日・内部被ばく検査(南相馬市・原町区福祉会館)



会長を務めた松川雇用促進住宅自治会は避難解除に合わせ解散。会員の引越しを見届け帰村しました。10月に同自治会の同窓会を開きます。

4月23日に、村に戻りました。それから数か月。生まれた時から見てきた風景は、やっぱりいいですよ。幸い私たちの地区は、廃棄物の置き場を牧野組合の土地に集約したので、家の周りからは見えません。

皆さんにお世話になってきた「押口商店」は、避難の間に閉店しました。大正8年の創業で、私は4代目だったんですよ。もともと70歳になったら引退すると宣言をされていて、避難中にその時が来たということです。案を練っていた閉店セールの日は、

松川雇用促進住宅への避難を決めたのは、周りに田園風景があつたからです。安達太良山や吾妻山も見えて、景色が気に入りました。入居できるようになるまでは、夫婦で四国に行つて、お遍路をしていました。長くいられる所と考えたんです。なかなかいいアイデアでしょう。

住み慣れない集合住宅での避難生活も、こんなことでもなければ一生分からなかったことを経験できたと思っています。私は個人事業主でしたからね、公的な住宅には普通だったら縁がないですから。住宅や地域の

ルールが高齢の避難者にもそのまま適用されて、その調整には苦労もありました。それは、いろいろ頑張りましたよ。

自治会では、花見、芋煮、新年会などを、毎年開いていました。縁あつて支援をいただいた岐阜の皆さん、横浜のレストラン、釜石の小学校などへは、お礼を伝えるために、自治会で訪問したりもしました。草刈りまで支援してくれた東京電力の皆さんを、行事に招待したりもしました。全ては、村に思いを寄せていただけたこと。飯館村民として、感謝を伝えてきました。

避難指示解除の時期が示された時、解除に合わせた自治会の解散を決めました。何事も前もって計画することが大切だと思つてからです。そして、それまで支援をいただいた方々全てにお礼の手紙を書きました。

建て替えた家には暖炉があります。好きな山仕事をしてその薪を焚けるようになるのは、いつ頃だろうね。(妻の)皆子は、不思議なくらい優しいんだ。私は病気にもなりませんが、これを克服して、夫婦でスポーツを楽しむたいと思っています。

## 心も自分も大切に。

村民の皆さんからの相談に、堀先生がお答えします

## おしえてくんちえ! 堀先生

相談

「もうひと頑張り」ができないことが増えてきたような気がします。

堀先生

いざという時に、何だか今一つ踏ん張れないな、と思うことはありませんか。その理由の一つは、生まれ育った頃の自分と今の自分の、その両方がつながっている感覚が、弱まっているせいかもしれません。今までの歴史とこれからの未来につながっている自分の感覚、それをアイデンティティーといいます。震災のような大きな変化を経験すると、このアイデンティティーの感覚が弱まる場合があります。そんな時には、以前にやっていたことを再開したり、地域の行事に参加してみるのはいかがでしょうか。



精神科医 堀有伸先生  
ほりメンタルクリニック院長

「心の健康相談」お問い合わせは 健康福祉課健康係 (いちばん館内) ☎0244-42-1638まで

## こころのぽけっと

## 「まだ」と「もう」

コップに半分の水が入っているのを「まだ半分ある」と考えるか「半分しかない」と思うかでは受け取り方が全く違ってくる…とよく聞く話です。「半分もある」と考えれば「幸せ」にもなりますし、「半分しかない」と思えば「不幸」になる可能性もあります。記憶はさだかではないのですが、アメリカの心理学者はさらに大きな追跡調査をしたというのを何らかの本で読んだ気がします。内容はこうです。

「まだ50歳」と考えるグループと「もう50歳」と考えるグループをかなりの人数で何十年もかけてどちらの平均寿命が長くなるかという調査です。その差は何か月というようなものではなく、7年という大きな差になったということです。もちろん、「まだ50歳」と考えた方が長く生きたということは当然のことです。「まだ」の方は「あれもできる」「これもやりたい」と前向きにいろいろ取り組んだから長生き出来たということでしょう。「とらえ方次第」で「幸」「不幸」もありえるが寿命まで違ってくるということでした。

でも、人間が生きていく上では、いろんなことが起きてくるはずですよ。「病気になるって初めて健康のありがたさが分かる」とか「長い間、並んで食べたラーメンはとっても美味しかった」というように「今の大変さ」「不幸」はいずれやってくる「幸せ」や「喜び」につながる前ぶれかもしれないと考えてみることも出来そうです。せっかく親からもらった「世界でたったひとつの命」「一度切りの大切な人生」ですから「まだ、まだ」ということで長生きしたいものですね。

平成29年9月15日 飯館村長 菅野 典雄



## 誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の氏名	行政区
菅野 泰雅くん	浩平・紗織	上飯樋
巻野 結香ちゃん	晋也・円香	伊丹沢

すくすくと元気に育ってね



## ひとのうごき

8月1日～31日までの人口動態	
人口 今月 (前月比)	◆◆人口動態◆◆
男 2972人 (-6)	転入 2人
女 2990人 (-9)	転出 12人
計 5962人 (-15)	出生 4人
世帯数 1811戸 (+4)	死亡 9人
	(住民基本台帳人口)

## おくやみ

氏名	年齢	行政区
西川 義信	91	宮内
菅野 タカ子	78	草野
佐藤 君子	81	草野
佐藤 ユフ子	73	前田・八和木
菅野 菊栄	99	伊丹沢
佐野 ハツノ	68	前田・八和木
高橋 カヲル	84	上飯樋
中村 俊一	84	八木沢・芦原
佐藤 ヨシイ	91	前田
高橋 圓平	91	長泥

ご冥福をお祈り申し上げます

(8月21日から9月20日までに届け出のあったものを掲載)  
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

HOPES  
ホープス セカンド  
2nd

者と呼ばないで」は、安美さんが、中学校英語弁論大会「創作の部」で発表した英文のタイトルです。安美さんは、流暢な発音で、真っ直ぐに熱く、会場に語りかけました。―被災した時、全国全世界から寄せられた支援への感謝を。メディアからいつまで被災者と呼ばれるのだろうという葛藤を。将来に夢を描いて日々を送る今の私は、皆さんと何も変わらない存在。だから、もう被災

被災者と呼ばないで

佐藤 安美さん(八木沢・芦原)

Don't call us victims



飯館中学校の3年生。3年前に英語の塾に通い始めました。「アメリカの明るくフレンドリーな雰囲気、表現がストレートな英語が好きなんです」。

高円宮杯全日本中学校英語弁論大会

国内最高レベルのスピーチコンテスト。安美さんは県大会「創作の部」で2位となり、11月に東京で行われる中央大会に県代表で臨みます。

9月8日に喜多方プラザ文化センターで行われた県大会。満員の会場が安美さんのスピーチに聞き入りました。



者とは呼ばないで」と。

被災経験を弁論のテーマとすることに迷いがあつたという安美さん。家族と話して考えを整理し「やはり主張したいことはそこにある」と確信したそうです。震災当時は、小学2年生。イベントが多い学校生活や、メディア取材が珍しくない環境も、その意味がよく分からなかったと言います。「すごく忙しくて、あつと言う間で。仮設校舎に移った時のことでさえ、昨日のことのように思い出せます」。しかし成長するにつれ、受け止めきれないと感じた時期も。「被災者と呼ばれないためには、通常より頑張らなくてはだめなんだという意識もありました」。

そうした思いを乗り越えて、何事にも全力を尽くせる今があります。「震災があつたからこそ生まれた出会いがあり、今の自分がある。私は飯館中学校で良かった。さまざまなかで良かった。さまざまなかでできごとの意味を、大切さを、今改めて感じています」。

編集後記

●「親父に言われたんで来ました。初めての選挙でやり方わからないんですが」。村議会選挙の投票事務でのひとコマ。村外の勤務先から、投票にやってきた若者の言葉です。選挙の大切さを教える親と、それを聞く子。家族の風景が目につかびます。何でも身近な話題として考えること、自分にも関係することなんだと実感することが大切。そして、次の世代に引き継いでいくことの意味を感じました。(木幡)

●安美さんのスピーチ(上の記事)を会場で聞きました。大会の2日前に駅伝大会に出場し、前夜に熱を出しながらの本番とは！祈るような気持ちでステージを見つめました。しかし心配は無用でした。清々しいスピーチ。安美さんの言葉は、どこまでも真っ直ぐに、会場の私たちの胸を満たしていきました。さまざまなかでできごとの、いつも真摯(しんしん)に向き合っていた安美さんたち世代の姿が、次々に思い出されて、涙が止まりませんでした。(星)



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。